

私のおすすめ

◎このコーナーでは、子育てや障害、認知症・介護当事者の目線から、普段の暮らしに役立つ「おすすめ」なものを紹介します。

10周年「れいんまん・広め隊」

「れいんまん・広め隊」は、自閉症のことを知ってもらいたいと、平塚地区自閉症児・者親の会の有志3人が始めました。

きっかけは、平成17年の春に見た、知的障がい・発達障がいの子を知ってもらおう公演を行う母のグループ「座間キャラバン隊」に感銘を受けたこと。

分かりやすく伝えたいと、工夫を重ね続けた発表は、今年で10周年を迎えます。

多くの方々の協力をいただきながら活動を続ける「広め隊」。これまでの取り組みと、これからも大切に伝えていきたいことをご紹介します。

❖「れいんまん・広め隊」発足…

「座間キャラバン隊」に触発された有志で即日結成された「れいんまん・広め隊」。平成17年の秋、平塚市内の小学校特別支援学級研修会で親の会として発表する日に向け、内容の検討を重ねました。

親の熱い思いが押し付けにならないよう、時には専門家の先生に話し合いに入っていたいただき、試行錯誤の結果、自閉症の3つの特性（社会性の障がい・コミュニケーションの障がい・こだわりや想像力の障がい）を入れた「広め隊」の姿が見えてきました。

❖「明るく・楽しく・分かりやすく」



現在は新人2名を含む4名で頑張っています

自閉症に関心のない方にも興味を持ってもらえるよう、寸劇や紙芝居も取り入れました。専門用語を使った説明が多かった初回でしたが、2回目からはガラリーと人形劇に替え、楽しさアップ！2年後には「やるなら徹底的に」と、歌あり踊りありのお笑い必須に至るまでになりました。「パフォーマンス集団」と紹介され驚きましたが、笑いは活力の源。嬉しかったです。

回を重ねるうちに、「障害者の日キャンペーン」（平塚市社協共催）や「発達障がいを考える集い」（平塚市主催、平塚市障がい者自立支援協議会・湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会共催）、「主任児童委員研修会」など、発表の場も広がっていきました。



自閉症を「理解したつもり」で終わらないよう、疑

今月は

⇒ **神奈川県自閉症児・者親の会連合会**

がお伝えます！

1968年4月設立。県内11地区（横浜市・川崎市を除く）の自閉症児・者親の会による連合会です。行政施策の研究・提言、当事者・家族のためのミーティング運営、療育者等に向けた勉強・セミナー運営等、自閉症児・者と家族の支援や、自閉症スペクトラムの理解を進めるための活動を各市町村及び県に向けて展開しています。

〈連絡先〉  info-kas@kas-yamabiko.jp.n.org
 <http://kas-yamabiko.jp.n.org/>



似体験を取り入れ「感じて」いただくようにしています。障がいを特別視せず、寄り添う気持ちで温かく見守って、とメッセージをお届けしたいと思っています。

●アンケートより

- *誰もが大なり小なりこの特性を持っているのだと思いました。特別ではないのだと改めて思いました。
- *知識ではなく「気持ち」を考えられたのがよかった。
- *このような話を聞く機会がなく、街の中で会っても驚いてしまう事がありました。今日のお話を聞いて分かったことがあり、とてもよい研修でした。

❖そしてこれから…

発足当時に、絵本作家さとうとしなお氏とコミックス『光とともに…』の秋田書店さまから活動への励ましのお言葉をいただきました。これからも多くの方から協力を得ながら、理解者の輪を広げつつ、自閉症の方たちの「不思議な魅力」もお伝えしていくつもりです。

インフォメーション

プログラムは60分から90分です。要望に応じ、体験談も行います。基本のプログラムは次の通りです。お気軽に上記連絡先にお問い合わせ下さい。

- ◆はじめに 絵本朗読「たっちゃんぼくがきらいなの」
- ◆第1部 自閉症ってどんな障がいなの？
認知障がい・感覚過敏・コミュニケーション・想像力などについて
- ◆第2部 体験してみよう
言葉の理解、見え方・聞こえ方について
- ◆第3部 どう接すればいいの？
言葉かけ、パニック対応など
- ◆おわりに 詩朗読「ぼくたちの世界」
神奈川県自閉症児・者親の会連合会作成「かながわ夢ネットワーク」より